

令和 7 年 5 月 1 8 日

京都市長 松井 孝治 様

京都醍醐センター株式会社
代表取締役 川端 昌和

令和 6 年度 京都市醍醐駐車場 事業報告書

京都市醍醐駐車場の管理に関する協定書第 5 条第 1 項の規定に基づき、令和 6 年度事業報告書を下記のとおり提出します。

記

- | | | |
|---|----------------|--------|
| 1 | 利用状況 | (別紙 1) |
| 2 | 収入・支出状況 | (別紙 2) |
| 3 | 利用者の満足度やニーズの状況 | (別紙 3) |
| 4 | 自己評価 | (別紙 4) |

京都市醍醐駐車場
令和6年度 利用状況

項目 月別	現金時間制		定期券利用			駐車サービス券利用		P&R		合 計	
	利用台数	金額	利用台数	契約台数	金額	利用台数	金額	利用台数	金額	利用台数	金額
令和6年4月	1,085	543,150	1,999	157	1,835,740	1,689	619,850	11	11,000	4,784	3,009,740
令和5年4月	1,071	530,350	2,082	169	1,987,000	1,899	698,300	7	7,000	5,059	3,222,650
前年比	101.3%	102.4%	96.0%	92.9%	92.4%	88.9%	88.8%	157.1%	157.1%	94.6%	93.4%
令和6年5月	1,219	645,050	2,070	157	1,822,420	1,689	624,350	6	6,000	4,984	3,097,820
令和5年5月	1,196	623,050	2,178	169	1,993,550	1,969	717,750	6	6,000	5,349	3,340,350
前年比	101.9%	103.5%	95.0%	92.9%	91.4%	85.8%	87.0%	100.0%	100.0%	93.2%	92.7%
令和6年6月	1,023	472,700	2,047	145	1,693,500	1,636	597,200	10	10,000	4,716	2,773,400
令和5年6月	1,190	593,050	2,360	174	2,052,580	1,946	718,850	2	2,000	5,498	3,366,480
前年比	86.0%	79.7%	86.7%	83.3%	82.5%	84.1%	83.1%	500.0%	500.0%	85.8%	82.4%
令和6年7月	1,371	706,500	2,194	170	1,983,820	1,985	748,900	3	3,000	5,553	3,442,220
令和5年7月	1,187	609,850	2,219	173	2,038,560	1,847	687,900	4	4,000	5,257	3,340,310
前年比	115.5%	115.8%	98.9%	98.3%	97.3%	107.5%	108.9%	75.0%	75.0%	105.6%	103.1%
令和6年8月	1,128	539,900	2,082	149	1,731,610	1,770	656,300	6	6,000	4,986	2,933,810
令和5年8月	1,193	635,100	1,961	163	1,903,940	1,729	646,300	8	8,000	4,891	3,193,340
前年比	94.6%	85.0%	106.2%	91.4%	90.9%	102.4%	101.5%	75.0%	75.0%	101.9%	91.9%
令和6年9月	1,269	659,650	1,986	154	1,804,530	1,736	663,350	5	5,000	4,996	3,132,530
令和5年9月	1,206	617,100	1,922	129	1,480,640	1,710	622,300	8	8,000	4,846	2,728,040
前年比	105.2%	106.9%	103.3%	119.4%	121.9%	101.5%	106.6%	62.5%	62.5%	103.1%	114.8%
令和6年10月	1,317	679,950	2,155	163	1,910,020	1,769	679,450	7	7,000	5,248	3,276,420
令和5年10月	1,256	706,550	1,973	143	1,657,000	1,729	624,700	5	5,000	4,963	2,993,250
前年比	104.9%	96.2%	109.2%	114.0%	115.3%	102.3%	108.8%	140.0%	140.0%	105.7%	109.5%
令和6年11月	1,270	676,050	2,003	147	1,708,160	1,845	684,750	9	9,000	5,127	3,077,960
令和5年11月	1,294	673,950	1,910	146	1,709,220	1,689	618,800	5	5,000	4,898	3,006,970
前年比	98.1%	100.3%	104.9%	100.7%	99.9%	109.2%	110.7%	180.0%	180.0%	104.7%	102.4%
令和6年12月	1,334	673,550	2,106	152	1,773,780	1,970	724,050	6	6,000	5,416	3,177,380
令和5年12月	1,218	639,400	1,933	194	2,289,860	1,875	679,150	5	5,000	5,031	3,613,410
前年比	109.5%	105.3%	108.9%	78.4%	77.5%	105.1%	106.6%	120.0%	120.0%	107.7%	87.9%
令和7年1月	1,250	627,600	1,844	156	1,824,870	1,765	668,200	3	3,000	4,862	3,123,670
令和6年1月	1,121	591,600	1,883	205	2,324,850	1,630	586,350	3	3,000	4,637	3,505,800
前年比	111.5%	106.1%	97.9%	76.1%	78.5%	108.3%	114.0%	100.0%	100.0%	104.9%	89.1%
令和7年2月	1,434	715,750	1,717	149	1,743,780	1,732	653,200	6	6,000	4,889	3,118,730
令和6年2月	1,480	771,600	1,803	140	1,633,800	1,884	698,950	6	6,000	5,173	3,110,350
前年比	96.9%	92.8%	95.2%	106.4%	106.7%	91.9%	93.5%	100.0%	100.0%	94.5%	100.3%
令和7年3月	1,424	730,100	1,949	151	1,756,750	2,025	764,350	11	11,000	5,409	3,262,200
令和6年3月	1,310	698,300	1,948	152	1,769,620	1,989	738,450	13	13,000	5,260	3,219,370
前年比	108.7%	104.6%	100.1%	99.3%	99.3%	101.8%	103.5%	84.6%	84.6%	102.8%	101.3%
令和6年度累計	15,124	7,669,950	24,152	1,850	21,588,980	21,611	8,083,950	83	83,000	60,970	37,425,880
令和5年度累計	14,722	7,689,900	24,172	1,957	22,840,620	21,896	8,037,800	72	72,000	60,862	38,640,320
前年比 (令和6年4月 ～令和7年3月)	102.7%	99.7%	99.9%	94.5%	94.5%	98.7%	100.6%	115.3%	115.3%	100.2%	96.9%

京都市醍醐駐車場
令和6年度 収入・支出状況

受任金額 金 43,100,000円
収入金額 金 43,100,000円
支出金額 金 41,037,403円
差引額 金 2,062,597円

単位:円

項目	予算額	支出額	備考
管 理 運 営 費	27,600,000	26,535,429	駐車場管制業務、人件費(DC・シルバー)
警 備 保 安 費	1,180,000	1,178,904	防犯・防災警備、緊急対応
設備保守管理費	2,000,000	1,854,800	駐車場設備・巡回点検、駐車場精算機保守
設 備 修 理 費	1,000,000	62,800	発券機乾燥ランプの付加設置
環 境 衛 生 費	3,210,000	3,207,036	清掃・害虫駆除・ゴミ処理
広 告 宣 伝 費	100,000	15,589	広告掲載料
光 熱 水 費	3,500,000	3,771,471	電気・水道
諸 雑 費 (そ の 他)	591,819	680,702	事務用品、保険料、BGM他
小 計	39,181,819	37,306,731	
消費税(10%)	3,918,181	3,730,672	
合 計	43,100,000	41,037,403	

(参考)

京都市醍醐駐車場
令和6年度 支出内訳

単位:円

項目	金額	内訳			備考		令和6年度予算
		長谷エコミュニ ティ・和光建物 ①	その他委託等 ②	DC ③	①②	③	
管 理 運 営 費	26,535,429	14,276,800	472,760	11,785,869	①駐車管制盤監視・記録、設備日常点検、駐車券等補充、満車・高さ制限等トラブル対応 ②シルバー人材センター人材派遣料	DC人件費	27,600,000
警 備 保 安 費	1,178,904		1,178,904		②防犯・防災警備		1,180,000
設 備 保 守 管 理 費	1,854,800	590,000	1,264,800		①駐車場設備保守(定期点検) ②駐車場精算機保守(定期点検)		2,000,000
設 備 修 理 費	62,800		62,800		発券機乾燥ランプの付加設置(発券障害の防止)		1,000,000
環 境 衛 生 費	3,207,036	2,793,432	413,604		①清掃費、害虫駆除 ②ゴミ処理費		3,210,000
広 告 宣 伝 費	15,589		15,589		②広告(東西館共同折り込みチラシ)掲載料		100,000
光 熱 水 費	3,771,471		3,771,471		②電気、水道		3,500,000
諸 雑 費 (そ の 他)	680,702		680,702		②事務用品、保険料、BGM他		591,819
小 計	37,306,731	17,660,232	7,860,630	11,785,869			39,181,819
消 費 税 (1 0 %)	3,730,672	1,766,023	786,063	1,178,586			3,918,181
合 計	41,037,403	19,426,255	8,646,693	12,964,455			43,100,000

京都市醍醐駐車場

令和6年度 利用者の満足度やニーズの状況

1 利用者満足度の把握状況

御意見・要望は、電話やメール等により聴取していることに加え、定期利用申込時や駐車料金支払時などにお聴きしている。いただいた御意見・要望については、その内容を連絡票により組織内で情報共有するとともに、要望内容に応じて、臨機応変に対応している。ただし、アンケートなどの手法は、行っていない。

2 施設利用に関する要望

これまでからお聞きしている主な要望は、月ぎめ料金（定期利用）の支払いを口座振替（引き落とし）のできるようにして欲しいというものである。

また、その他、現行の磁気券使用方式から IC カード利用などができないかといった、利便性の向上に係るものや、施設老朽化に伴う設備整備（停止線等の路面表示の明瞭化、天井からのコンクリート石灰化物を含む水の滴下防止など）に係る御意見などをお聴きしている。

なお、現在の支払方法は、指定口座への振込又は現金持参に限定されている。

3 要望等への対応状況

利用者からの要望等については、把握できたものを集約し、即時対応可能なものは、迅速に対応している。

このうち、口座振替（引き落とし）については、手数料負担が発生することから対応できていないため、窓口支払いが困難な場合には、利用者負担のうえ指定口座に振り込みいただくよう御案内している。ただし、口座振替の要望があることから、口座振替実施に向け、手数料相当額を必要経費として認めていただくなど、具体的な検討をお願いしたいと考えている。

また、施設の老朽化に関するリフレッシュ工事については、計画的に実施していただくよう、具体的な検討をお願いしたいと考えている。

京都市醍醐駐車場

令和6年度 自己評価

- 1 令和6年度の京都市醍醐駐車場の利用状況は、前年度と比較して、利用台数が微増となったものの、利用金額が1,214千円、3.1%の減少となった。これは、現金利用で増加がみられたものの、前年度に大幅減少した定期利用の契約件数が増加に転じるまでには至らなかったためである。また、現金利用で回復の傾向にあるものの、コロナ禍前の令和元年度の水準と比較し、利用台数・利用金額ともに9割程度の水準となっている。
- 2 現金時間制の利用は、前年度と比較して、利用台数、利用金額ともに微増し、ほぼ前年並みとなっている。これは、新型コロナウイルス感染症の指定が2類から5類になったことによる外出気運等の高まりなどがあったものの、さらなる利用増までには至っていないことによると考えている。
- 3 定期券利用については、前年度と比較し、契約延べ台数、金額ともに5.4%減少した。これは、大口の契約先の契約数が大きく減少したなかで、新規契約は前年度と比べ増加したものの、解約件数も同様に発生したため、実質的な増加となっていないことが要因である。しかしながら、店舗従業員や近隣住民、近隣の企業の通勤用として一定の需要があると考えられるので、新規契約増加の余地はあるものと認識している。
- 4 パークアンドライドについては、前年度と比較し、利用台数は15%増加したものの、月平均で7件程度の利用にとどまっているため、改めてサービスの周知が必要となっている。
- 5 利用促進に向けては、定期契約数の水準を回復させることを主軸としつつ、イベント開催等の増客策による利用者の増加を図ることがポイントであると認識している。
今年度には、チラシへの情報掲載などによる周知を行ったところであり、今後とも、利用促進、特に定期利用者の確保を視野に入れ、来館者、館内テナント従業員、近隣地域への案内・広報の充実などに取り組んでいく。